

でんぎの礎

—振り返れば未来が見える—

まいこんれじすたびーあーるしー 3 2 しーえふ じーえす

マイコンレジスタ BRC-32CF-GS

モノ

Electronic Cash Register Equipped
with Microcomputer Chip



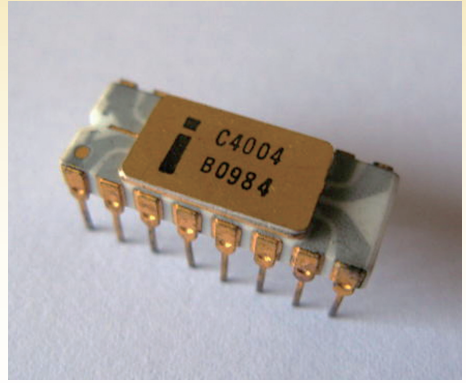
マイコンレジスタ BRC-32CF-GS は、世界で初めてマイコンチップを搭載した高性能電子レジスタです。東京電気㈱（現東芝テック㈱）は、創業したばかりのインテル社が開発した4ビットマイコンチップをいち早く取り入れることにより、従来の電子レジスタに比較して格段の小形化、高性能化、高機能化を図った電子レジスタを1972年に開発し翌1973年（昭和48年）に販売開始しました。

1970年代当初、レジスタは従来の機械式・電動式製品から電子式製品へと大きく変化しつつあり、1971年に東京電気㈱を始め各社から電子レジスタが発売されました。しかし、従来のICを使ったこれらの電子レジスタでは顧客の要求する機能を満たすことができず、東京電気㈱は、1971年に生まれたばかりのマイコンチップを電子レジスタに搭載することを決意し、その開発を進めました。BRC-32CF-GS は、西ドイツのガソリンスタンド用会計機として開発された世界最初のマイコンチップ搭載電子レジスタです。マイコンチップ搭載の電子レジスタは、その後更なる技術革新やコンピュータとの連携により、今日では量販店からコンビニエンスストア、飲食店など幅広い業種業態で使用され、世界的なPOS市場創設の要となっています。

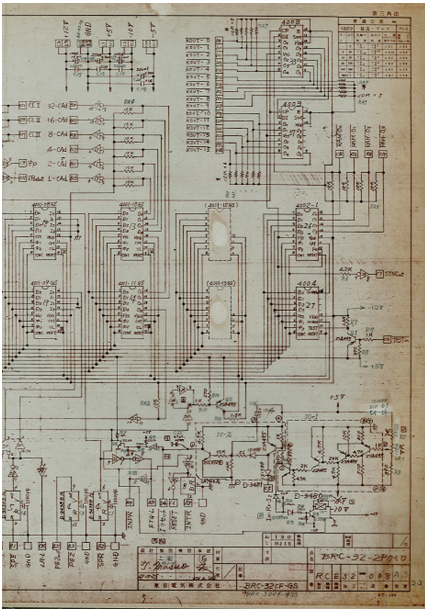
- ☆顕彰先 : 東芝テック株式会社
- ☆展示場所 : 〒410-2392 静岡県伊豆の国市大仁570（静岡事業所（大仁））
- ☆ホームページ : <http://www.toshibatec.co.jp/>
- ☆アクセス（最寄駅）: 伊豆箱根鉄道線 駿豆線 大仁駅 徒歩5分



②



③



④



⑤

(写真提供：東芝テック株式会社)

- ① マイコンレジスタ「BRC-32CF-GS」
- ② 「BRC-32CF-GS」をガスリスタントに導入することを決めたドイツ視察団
- ③ マイクロプロセッサ「4004」
- ④ 「4004」を搭載した「BRC-32CF-GS」の回路図面
- ⑤ 最新レジスタの設置風景